

組織としての文書番号を
付していなければ空欄

令和 年 月 日

文化庁長官 殿

団体名 ○○博物館
住 所 ○○県○○市○○町3-2
代表者職名 館長
代表者氏名 ○○ ○○

令和3年度 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業（文化資源活用事業費補助金） 交付要望書

令和3年度 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業について、補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり要望します。

事業の名称	○○ゆかりの文化資産を活用した「○○」展覧会事業		
補助事業の着手及び完了の予定期日	着 手	交付決定日以降	
	完 了	令和4年 3 月 31 日	
補助金の交付要望額	(補助対象経費	円 の %)	

様式1-4 収支予算書の
交付要望額と同額。千円
未満は申請できませんの
で自己負担額等で負担し
てください。

(ふりがな)	
担当者氏名	実務を担当(書類作成)している方の氏名を記載いただき、平日の日中に連絡がつく電話番号を記載してください。
連絡先 (TEL)	
〃 (FAX)	
〃 (E-MAIL)	
書類等の郵送先	
その他 (日中連絡先)	

1 申請者の財政規模又は収支及び財産の状況に関する書類

(1) 申請者が地方公共団体である場合・・・当該事業を実施する日の属する当該地方公共団体の会計年度の前々年度の財政規模を記載した書類

年度（一般会計）

人口	歳出 総額	歳入 総額	歳 入 総 額 内 訳					交付税の 交付・不 交付区分	備考
			税収 入額	国 庫 支出金	普 通 交付税 交付金	特 別 交付税 交付金	その他		
人	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

(記載上の注意)

- ・決算ができない場合は、予算額でよい。
- ・備考欄には、財政力指数を記載すること。

(2) 申請者が財団や実行委員会等の民間団体である場合・・・申請書を提出した日の属する年の前年分の収支計算書及び財産の状況を明らかにした書類（実績がない場合は当該年度の収入見込額）

イ. 収入及び支出

収 入			支 出		
項 目	金 額	備 考	項 目	金 額	備 考
	円			円	
合 計			合 計		

(記載上の注意)

- ・ 有料公開している場合は、観覧料等の収入について、項目別に記載し、備考欄に単価と人員を必ず明記すること。

ロ. 財産状況

資 産			負 債		
区分及び種類		種 類	評 価 額	区 分 及 び 種 類	金 額
動 産			円	負 債	円
種 類	現金 預貯金 有価証券 その他			種 類	借 入 金
	不 動 産		円		
種 類	土地 建物 その他			負 債 合 計	
	そ の 他		円	差 引 (資 産 - 負 債)	
資 産 合 計			円	正 味 財 産	
			円		

(記載上の注意)

- ・ この表は、申請書を提出した日の属する年の前年末現在で作成すること。
- ・ 資産の欄には、現金・土地・建物等、一般に資産と考えられるものを記載すること。
- ・ 土地建物で、貸地、貸家、山林等がある場合は、それぞれ区分して記載することが望ましい。

■ 令和3年度事業計画の達成目標

来場者数の目標値	3万人(うち外国人:3000人)	
社会的・文化的効果の指標と目標値	<指標>	募集案内も参考に具体的に必ず記載する。
	<目標値>	
観光インバウンド拡充の指標と目標値	<指標>	募集案内も参考に具体的に必ず記載する。
	<目標値>	
経済波及効果の目標値	5000万円	
<p><目標値の積算根拠> 来場者数についてはこれまでの展覧会の実績から想定し、うち外国人数については・・・ …… 経済波及効果については、チケット収入〇円(〇円×〇人)、グッズ販売収入〇円、また地域への滞在時間増による〇円……。</p>		
<p><効果検証の方法> 来場者数についてはチケット販売数により検証し、…… …… 〇〇については、〇〇大学〇〇教授や〇〇教授による有識者会議において評価を実施する。</p>		

■ 申請済(又は申請予定)の文化プログラム認証

東京2020公認プログラム	・申請済(認証番号:)	・申請予定 <u>あり/なし</u>
東京2020応援プログラム	・申請済(認証番号:)	・申請予定 <u>あり/なし</u>
beyond2020	・申請済(認証番号:〇〇〇〇)	・申請予定 あり/なし

<収支予算書>

単位：円

	区分	金額 (予定を含む。)	内訳	備考
収入の部	本事業以外の補助金・助成金	0	0	
	事業収入	0	0	
	その他収入	5,000,000	0	協賛金
	小計 (A)	5,000,000		
	自己負担金 (B)	7,040,000		
	本事業による補助金の交付要望額 (C)	12,040,000		
	①収入合計 (A) + (B) + (C)	24,080,000		

応募時は千円未満切り捨てとしてください。端数が出る場合には自己負担額に入れてください。

同額になるようにしてください。

同額になるようにしてください。

単位：円

	区分	総事業費	交付要望額	左記のうち自己負担額等
支出の部	総事業費	24,080,000	12,040,000	12,040,000
	主たる経費	24,080,000	12,040,000	12,040,000
	コーディネーター料	50,000	25,000	25,000
	賃金	1,120,000	560,000	560,000
	共済費	30,000	15,000	15,000
	報償費	30,000	15,000	15,000
	旅費	100,000	50,000	50,000
	使用料及び賃料	2,500,000	1,250,000	1,250,000
	役務費	5,392,000	2,696,000	2,696,000
	委託費	7,348,000	3,674,000	3,674,000
	請負費	7,000,000	3,500,000	3,500,000
	備品購入費	500,000	250,000	250,000
	需用費	10,000	5,000	5,000

■ 以下、①から⑤の必須記入項目について記載してください。

① 「日本博」の総合テーマ「日本人と自然」及び基本コンセプトに沿った内容であるか。

※総合テーマ「日本人と自然」及び基本コンセプトを踏まえ、抽象的な概念ではなく、事業計画の具体的な内容と関連づけて記載すること。

※総合テーマ「日本人と自然」及び基本コンセプトについては、日本博総合推進会議(第1回)(2018年12月26日開催)資料5を参照願います。(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/nihonhaku/dai1/gijisidai.pdf)

本事業は・・・を紹介するものであり、人間が自然に対して共鳴し、共感する美意識を具現化した・・・を国内外に発信するものである。また、・・・という観点から、「日本博」の総合テーマ「日本人と自然」及び基本コンセプトに沿った内容である。

② 我が国若しくはそれぞれの分野における代表的な文化芸術プロジェクトであって、又は当該実施地域の代表的な特色ある文化芸術プロジェクトであって、国内外に発信するものとしてふさわしいものであるか。

本事業は、地域を代表する〇〇をテーマとする展覧会であり、国宝「〇〇〇」をはじめ多くの国宝・重要文化財を一堂に展示するものであり、日本文化の魅力を国内外に発信するものとして、〇県を代表するにふさわしいプロジェクトである。

③ インバウンド促進を喚起する取組の工夫がなされているか。
※該当項目にチェックし、取組について具体的に記載すること(複数選択可能)

訪日外国人の関心が高い内容であること

ストーリー性に配慮した解説をするなど訪日外国人にとってわかりやすい内容であること

訪日外国人や海外への「日本博」プロモーションのために映像や画像の活用を含む多言語での情報発信 等

※上記のほか、訪日外国人に需要の高い体験型プログラムを実施する等のインバウンド促進を喚起する工夫を行う場合についても積極的に記入すること。

本事業では、外国人にも関心の高い日本刀を数多く展示するとともに、武士の生活や思想、自然観などを背景知識も含めて分かりやすく、ストーリー性を意識した解説を実施する。解説は3か国語を基本とし、加えて音声ガイドやスマートフォンアプリ、学芸員による解説などを実施して、外国人のニーズにもきめ細かく対応していく。鎧着装体験を実施し、単なる展示解説だけでは得られない特別な体験機会を提供する。また、SNS等を通じて、国内外問わず幅広く情報発信を実施する。

④ プロジェクトの実現可能性が高いこと又は実施するための実績があること、かつ、プロジェクト実施することが可能な体制を有しているか。(詳細については様式2-1に記載すること。)

※年度内に事業を着実に実施・完了し、具体的な成果が得られるかなど、実現可能性について明確に記入すること。(いつ作品を借用する予定であるか、万全な展示環境が準備可能か、地域や民間企業等との連携が実施可能か等について具体的に記載してください。)

※事業実施における責任者や役割分担など、実施体制を明確化すること。

⑤ 「beyond2020プログラム認証要領」(平成29年5月26日文化庁作成)第2条の要件を満たすプロジェクトであるか。

■以下⑩から⑬の任意記入項目について記載してください。いずれか1つ以上欄に必要かつ十分な

- ⑥ それぞれの分野において独自性や優位性が大きく認められる、新規性・創造性が高いプロジェクトであるか。なお、美術・文化財、舞台芸術、メディア芸術、生活文化・文芸・音楽、食文化・自然、共生社会・多文化共生、被災地復興等の複数分野が連携するプロジェクトであること、又は異なる時代の文化芸術を比較したプロジェクトであること等の工夫があると望ましい。

これまで〇県では展示されたことのない国宝「〇〇〇」が初の出品になるとともに、全国的にも類例のない〇〇を訪日外国人へのサービス向上として初めて導入する。また、文化財だけではなく、郷土料理であり〇〇藩時代から伝わる〇〇を活用した体験事業もあわせて実施し、文化財と食文化を融合させたプロジェクトとなっている。

- ⑦ 文化資源を有効に活用するプロジェクトであって、新しい手法・演出や最先端技術を導入しているか。

最先端の3D計測及び〇〇の新素材を活用し、〇〇藩に伝わる鎧である重要文化財「〇〇〇」の精巧なレプリカを制作し、実際に触れることができ、着用体験ができるコンテンツを整備することとしており、文化資源を有効に活用しつつ、新たな手法・最先端技術を導入したプロジェクトとなっている。

- ⑧ 「日本博」で培ったノウハウをその後の文化芸術活動におけるレガシーとして生かして継続する観点が含まれたプロジェクトであるか。
(プロジェクト実施後において、組織体制や地域における支援体制、人材育成、ノウハウの構築など、プロジェクトの成果が文化芸術活動に具体的に活かされ、評価されるものであるか。)

- ⑨ 「日本博」で培ったノウハウをその後の我が国・社会におけるレガシーとして生かして継続する観点が含まれたプロジェクトであるか。(プロジェクト実施後において、組織体制や地域における支援体制、人材育成、ノウハウの構築など、プロジェクトの成果が我が国・社会に具体的に活かされ、評価されるものであるか。)

- ⑩ 以下の促進に資する取組であるか。
※該当項目にチェックし、取組について具体的に記載すること(複数選択可能)

- 子供・若者・高齢者等の文化芸術活動の促進に資する取組を行っているか(企画内容や、参加者にとっての阻害要因を取り除く取組を含む)。
- 障害者等の文化芸術活動の促進に資する取組を行っているか(企画内容や参加者にとっての阻害要因を取り除く取組を含む)。
- 多文化共生の推進に資する取組を行っているか(企画内容や、参加者にとっての阻害要因を取り除く取組を含む)。
- 被災地に関するプロジェクトであって、国内外の発信や被災地へ誘客する工夫がなされているか。

- ⑪ 地方への誘客に資するプロジェクトであるか。

〇県ゆかりの文化財を紹介する事業であり、〇県の魅力向上、国内外からの誘客促進に資するとともに、事業の中では△県の〇〇城などを結び付けてその特色を紹介しており、その他の地域への誘客にも資するプロジェクトとなっている。また、〇県や△県の様々な関連地域を結び付けたツアーを民間企業と連携して行う予定であり、実際にそれらの現地へ誘客する組織体制・実行体制を構築している。

- ⑫ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を機に世界にアピールする観点を含む計画であるか

※東京2020Nipponフェスティバル(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)やTokyo Tokyo FESTIVAL(東京都)へ応募している場合には、そのことについても記載すること。

- ⑬ 事業実施の効果について明確な目標を設定し、地元の大学やシンクタンク等の専門機関による効果検証を行う、又は事業実施の報告等で協力する計画であるか。

■ 以下の調整要件については、該当がある場合に記載し、内容や関連性について記載してください。

- ① 美術、文化財、伝統芸能、現代舞台芸術、メディア芸術、生活文化などの複数分野の文化芸術が連携しつつ、AIなどの最先端技術を導入しているプロジェクトである。

- ② 被災地と協働して行う被災地復興に資するプロジェクトである。

- ③ アイヌ文化や琉球文化振興をはじめとする多文化共生の推進に資するプロジェクトである。

- ④ 観光庁に登録された日本版DMO(日本版DMO候補法人は除く)と協働して実施するプロジェクトである。

- ⑤ 障害者等の文化芸術活動の推進に資するプロジェクトである。

- ⑥ 当該年度に、他の国際観光旅客税を充当する事業と連携して実施することを計画している事業である。

- ⑦ 補助事業者の財政規模が一定の割合である。

- ⑧ 「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律案」(令和2年2月7日閣議決定)に規定する拠点計画又は地域計画について、主務大臣の認定を受けた又は認定の申請を事業実施年度内に計画している施設において行うものであり、以下に該当する。

施設内外の美術、文化財、伝統芸能、現代舞台芸術、メディア芸術、生活文化などの複数分野の文化芸術が連携しつつ、AIなどの最先端技術を導入する取組を行うものである。

拠点計画又は地域計画における文化観光推進事業者と協働して実施する取組である。

令和3年度 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業 地域ゆかりの文化資産調書

■本事業において借用等により活用を予定する「国等が有する地域ゆかりの文化資産」について記載してください。

「国等が有する文化資産」と当該地域との関連性及び事業内容との関連性	借用等により活用する国等が有する地域ゆかりの文化資産一覧		
文化資産の名称	国指定等の有無	所有者等の名称・所在地等	借用等の調整状況
1 絹本着色〇〇	国指定	(独)文化財機構東京国立博物館	内諾済み
2 刀 銘〇〇(重要美術品)	その他	(公財)〇〇文庫(東京都〇〇区〇〇)	出陳交渉中
3		貸し手について記載	当該文化資産の活用の実現可能性が分かるように記載。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
#			
#			
#			
#			
#			
#			
#			
#			
#			
#			

※行が足りない場合や調書を分ける場合、適宜追加してください。
 ※文化資産の名称等については1件毎に記入してください。

令和3年度 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業 委託事業希望調書

①文化資産の名称	○○○ ○○筆
②文化資産の所有者等	(独)文化財機構東京国立博物館
③希望する事業内容（文化資産を魅力的に発信・展示する具体的な手法、先端技術の具体的な活用方法、期待される効果等を記載）	
<p>本作品は東京国立博物館に所蔵されるものだが、作者○○は本県出身の画家であり、描かれる○○祭りも本県の代表的な祭りとして全国や海外に知られるものである。</p> <p>本作品においては非常に精緻に○○祭りの様子が描かれており、近づいたり拡大したりすることによって、より理解しやすく、また作品の面白さをより体感できるようになるが、実際の鑑賞においては作品の保護や鑑賞者の安全の観点から実施困難である。</p> <p>そこで、本作品の高精細4K画像及びタブレットによるデジタルアートビューアーを整備し、本県における鑑賞機会を確保する上、鑑賞者が自由自在に作品を鑑賞できる環境整備を図る。</p> <p>これにより、当館における鑑賞体験の満足度向上、ひいては入館者数の増加が期待される。また、○○祭りの開催時期と合わせることで、祭りを観覧に訪れる中国や韓国からの訪日観光客も楽しめるコンテンツとし、訪日客の満足度向上、再訪意欲の向上に寄与する。</p>	
④希望する借用時期	基本的には令和3年度中で記載する。
⑤希望する実施場所	○○県立美術館
⑥その他（所有者と既に調整している場合等はその旨を記載）	

補助対象経費計	補助対象外経費計	支出合計
2,093,000	10,000	10,000

(単位:円)

No.	費目	内 訳	(単価) ×	(数量)	(単位) ×	(数量)	(単位)	+	(調整額)	=	(金額)	補助 対象外	備考
1	賃金	非常勤職員(監視員)賃金	8,900	40.00	日	2.00	人				712,000		
2	旅費	作品輸送旅費(東京国立博物館)	12,000	1.00	回	3.00	人				36,000		
3	役務費	ポスター印刷	300	150.00	枚						45,000		
4	委託費	造作デザイン・制作	1,300,000	1.00	式						1,300,000		
5	役務費	弁当代	10,000	1.00	式						10,000	○	
6		...									0		
7		...									0		
8		...									0		
9											0		
10											0		
11											0		
12											0		
13											0		
14											0		
15											0		
16											0		
17											0		
18											0		
19											0		
20											0		
21											0		
22											0		
23											0		
24											0		
25											0		
26											0		
27											0		
28											0		
29											0		
30											0		
31											0		
32											0		
33											0		
34											0		
35											0		
36											0		
37											0		
38											0		
39											0		
40											0		
41											0		
42											0		
43											0		
44											0		
45											0		
46											0		
47											0		
48											0		
49											0		
50											0		

委託費については、別途、委託内訳書を作成してください。

補助対象外については○を入力してください。

実施体制の概要

(ふりがな) 名称	〇〇	(ふりがな) 代表者職名・氏名	〇〇 〇〇
	〇〇実行委員会		委員長 〇 〇〇
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇県〇市〇〇〇	電話番号	****-****-****
		FAX番号	****-****-****
構成員		構成団体	
〇〇 〇〇(〇県〇〇〇長) 〇〇 〇〇(〇市〇〇〇長) 〇〇 〇〇((株)〇〇 〇〇〇〇)		〇〇県 〇〇市観光協会 (株)〇〇	
組織図	〇〇、〇〇、〇〇で構成する実行委員会を設置し、…。		
	<pre> graph TD A[委員長 〇〇 〇〇(〇〇長)] --- B[副委員長 〇〇 〇〇] A --- C[事務局 〇〇 〇〇] A --- D[委員 〇〇 〇〇] A --- E[委員 〇〇 〇〇] A --- F[委員 〇〇 〇〇] </pre>		

※ 実行委員会等の設置規則を併せて提出すること。

※ その他、本事業に協力することが可能な地域住民等による団体(例:自治会、町内会、公民館、NPO、文化財愛護団体等)を把握していれば、リストを提出すること(様式自由)。

見積書

殿

について、下記のとおりお見積もりします。

令和 年 月 日

金 0 円

事項	金額	備考
<p>※ 人件費は、内訳を記入してください。 ※ 使用料、借料、委託費、消耗品などについては、内訳明細を添付してください。 ※ 発注予定金額が10万円(税込)以上の場合、見積書を添付してください。 ※ 発注予定金額が100万円(税込)以上の場合、複数者から見積を徴してください。複数者から見積書を徴することができない場合は、理由書(任意様式)を添付してください。</p>		
合計	0	

令和3年度 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業 成果報告書

①実施主体の名称			
②事業名称			
③設定した指標・目標と3年度の達成状況			
指標	設定した目標値		実績値 達成率
来場者数(うち外国人数)		→	
		→	
		→	
経済波及効果		→	
④実績値の根拠			
⑤事業成果の概要 ※令和3年度に実施した事業の実施状況を記載してください。			
⑥事業実施による効果等の検証・分析結果、今後の活動等へのレガシー ※令和3年度事業実施により得られた効果や成果、実施後の状況（実績値に基づく定量的・定性的な分析）及び今後の活動や我が国・地域社会へのレガシーについて具体的に記載してください。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red;"> 得られた効果・成果について検証分析結果を記載。また、得られた知見をもとに今後の事業活動や地域社会、我が国に還元できる事項を記載。 </div>			
⑦担当者連絡先			
ふりがな		
担当者氏名			
TEL		FAX	
E-mail	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red;"> 実務を担当(書類作成)した方の氏名を記載いただき、平日の日中に連絡がつく電話番号を記載してください。 </div>		
住所			

※ スペースが足りない場合は、行の幅を変更しても差し支えありません。

※項目を追加する場合は行を追加してください。